

「大槌町山林火災」被害に対する 岩手県生協連からの支援募金の呼びかけ

全国の生協・生協連の皆様へ

岩手県大槌町(おおつちちょう)で4月22日に2か所で発生した山林火災は、1,633ヘクタールを焼失する、昨年の大船渡市山林火災に次ぐ平成になって2番目の大規模火災となりました。全国からの消防隊の応援で、住宅への延焼は防いでもらいましたが(残念ながら住宅1棟を含む8棟は焼けたものの死亡者がなく幸いでした)、あの時あれほどの望んだ雨は、丸裸になった今後の山林にとって土砂くずれのリスクを高めるものとなってしまいました。

これから長い時間をかけて、森の再生、地域の再生に取り組んでいかなければなりません。

15年前の3・11東日本大震災の津波で、大槌町は町中心部の半分以上が浸水し、人口の約8%にあたる1,200人以上が死者・行方不明となりました。いわて生協の組合員組織率は、店舗がない地域にもかかわらず52%もあり宅配で食生活を支えている方が多い地域です。そのため、震災後はこの大槌町と陸前高田市を重点地域にして震災支援に取り組んできました。全国からの支援も、大槌町にたくさんいただいてきました。あの時の支援場所の仮設住宅や地域は山火事被害を免れました。

県内では、いわて生協が店舗・宅配での支援金募金を組合員に呼びかけています。火災直後は、大槌町役場を通じ応援者向け弁当配布を行い、避難所への生活必需品の提供なども実施しました。今後も、現地の要望にそって支援を続けていくつもりです。

全国の生協の皆様からは、いち早くご心配やお見舞いの言葉をかけていただきありがとうございます。心から感謝申し上げます。岩手県生協連としては、被災者支援や町の復興を願い、全国の生協や生協連の皆様にもむけて支援募金のご協力をお願いすることといたしました。詳細は、要項をご覧ください。幸いです。

東日本大震災前、人口1万6千人だった現在の大槌町は1万人強となり、人口減と復興に立ち向かっています。可能なご協力を心からお願い申し上げます。

2026年5月15日

岩手県生活協同組合連合会
会長理事 阿部慎二